

バリアフリーまちづくり通信

発行: 東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和7年7月号

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話: 06-4809-9927
 ←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています



第56回 まちづくり構想部会を開催しました 令和7年7月10日

東淀川区西部地域における大阪市の取組や各地域での活動状況などについて、話し合いました。

淡路駅エリア のまちづくり について 意見交換

大阪市計画調整局から6月に策定した「淡路駅エリア計画」について情報提供がありました。

【参考】十三駅エリア・淡路駅エリアのまちづくり(大阪市ホームページ)

＜地域の皆さんからの主な意見＞

◆回遊性向上について我々も興味がある。新たに開発されるエリアや新大阪方面への動線が具体的にどのようなものになるのかイメージできるようになれば(歩道や車道、大きな幹線道路、横断歩道や歩行者用デッキなど)良いと思う。将来はここを歩けるようになるんですよ、といったイメージを伝えるべき。いわゆるW踏切の周辺など、現在地域住民にとっては嫌なスポットが、将来の交通結節点になるといい。



- ◆地域でまちづくりの方向性を考えるにあたって、高架下について、ここは車は入ってこないとか、ここは歩行者だけの移動動線ができるとか、といった情報が必要。
- ◆車がどこを通るのかについては、地元としては事前に相談してほしい。そうでないと、車道によってまちが分断されてしまう。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、「工夫することで、阪急洛西口〜桂駅間よりもっと楽しい空間ができるのではないか。」とのお話がありました。



AIオンデマンド 交通の社会 実験について 情報提供

大阪市都市交通局および大阪市高速電気軌道株式会社(Osaka Metro)から、AIオンデマンド交通の社会実験について情報提供がありました。

- ◆AIオンデマンド交通とは、利用者の予約に対してAIによる最適な運行ルート、配車をリアルタイムに行う乗合輸送サービス。従来の路線バスとの違いは、①乗降場所を比較的自由に設定できること、②線的ではなく面的に運行できること、であり、区内移動が大幅に向上する可能性がある。
- ◆この社会実験は、大阪市が民間事業者の自主事業として募集したところ、Osaka Metro Groupから提案があった。なお、大阪市としての公費負担等は行わない。
- ◆東淀川区では令和8年3月以降に社会実験開始予定の提案があった。
- ◆社会実験が開始された際には、「乗って育てる地域交通」として実際にご利用いただいて、その良し悪し等についてぜひご意見をいただきたい。

【参考】Osaka Metro Group「オンデマンドバス」(Osaka Metroホームページ)



情報提供 & 意見交換

- ◆事務局から、阪急連立事業の各駅の完成イメージ図の更新について情報提供がありました。
- ◆下新庄地域では5月にワークショップを開催。工事中の仮囲いなどを利用して、地域の活動・行事紹介や、魅力や将来像をアピールをしていく方法を検討している。
- ◆(淀川区の)西中島では小学校が統合されてしまうくらい人口が減っており、啓発地域でも、人が減っていくことへの危機感を持っている。ワンルームマンションばかりが増えているので、ファミリー層を増やしていきたいと思っている。
- ◆近畿大学 久名誉教授から、「淡路駅エリア計画の報告があったが、新しい開発区域のエリアマネジメントは誰がするのか、といった検討など、これから中身を詰めていかないとけない。エリアマネジメントには、ぜひこちらのメンバーや地域住民も参加してほしいと思う。(整備事業後も)区役所と地域と一緒にやっていけると良い。」とのお話がありました。